



未完への脱走  
(横尾 忠則)

20代の頃お茶の水の古本屋さんで、サイケデリックなデザインに一目惚れ、ジャケ買いした本です。(100円でした)見返しを開くと横尾さんが5才の時に絵本を模写した巖流島の決闘の絵に言葉を失いました。そして読み進めていくうちに当時の自分に力をいっぱい与えてくれました。就職した先の仕事がうまくいかない話や養母の話はよく読み返しています。今でも仕事に詰まるとページを開きますし、枕元に置いておくだけで気持ちが落ち着きます。

日本の喜劇人  
(小林 信彦)

クレイジーキャッツの映画にハマった10代、この本を読んであらためて日本の喜劇の歴史を学びました。

あなたに褒められたくて  
(高倉 健)

寡黙で無口な印象の健さんの本が出版されると聞き、速攻で購入しました。健さんの温かさやぬくもるを感じることができる本です。健さんが床屋で散髪中にテレビでロッテの村田投手引退試合に感動、自宅を調べ花を届けに行く話がおすすです。

大きい1年生と小さな2年  
(古田 足日)

もう何百回読んだことか。当時は小学校2年生の小さなあきよに憧れていたのかもしれないです。二人でホテルブクロを見つけに行くところとカルピスを飲むところが好きなページです。

ひとまねこざる  
びょういんへいく  
(マーガレット・レイ)

小さい頃岩波の子どもの本がたくさんありました。その中でもひとまねこざるシリーズは大好きで何百回も読んでいました。「びょういんへいく」は好奇心旺盛なひとまねこざるジョージの出来事にハラハラドキドキしながらページをめくって読んだ思い出があります。

愛しのチロ  
(荒木 経惟)

平猫嫌いだったアラキーをメロメロにさせた保護猫チロちゃん。アラキーと陽子夫人とチロちゃんの日常を撮影したモノクロ写真集です。ますます猫が好きになった1冊。

捨て猫ミーちゃん  
(平間 至)

グラビアや写真集などを撮影する平間至さんの飼い猫ミーちゃんの写真です。ミーちゃんのポージングはモデル並み、猫好きな方はぜひ見てほしいです。

私の絵日記  
(藤原 マキ)

つげ義春ファンの夫の本棚にあった本です。子育て真っ最中の時に読みハマりました。つげさんの病気や貧乏な生活、夫婦喧嘩・色々な出来事を抱えながら一人息子を育てていく日常を描いた絵日記。イラストも味わいがあり、マキさんの文章もじわっとくる描写で好きです。最後、家族3人で河川敷に行くページに涙しました。当時私は、1才と2才の年子を育てている最中で、子育てに疲れ果てていた頃、幸せってなんだろうとあらためて考えさせられた1冊です。

Good books, Good shops

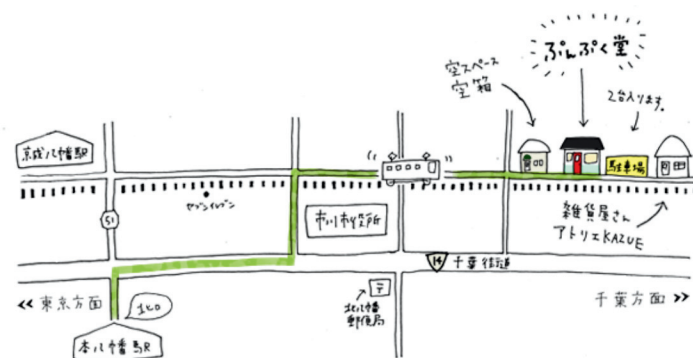
店主  
の  
本棚

市川市の店主さんが選んだ本をご紹介します

今月の店主

ぶんぶん堂®

市川市南八幡5-6-29



お店情報はこちら